

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」				
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。				
アート・デザイン表現学科 メディア表現領域 教育目標・人材の養成に関する目的			メディア表現領域では、人間の感覚を理解し、グローバルに変わり続けるメディア環境の中で適切な情報・表現を選び使う能力を養い、多様な表現への挑戦と時代や社会の状況に対応できるクリエイティブな人材の育成を教育目標とする。				
学科専門科目 (学科共通科目／専攻・領域専門科目)			芸術学部のディプロマポリシー				
科目 区分	年次	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
			アート・デザイン表現学科のディプロマポリシー				
			アートとデザインに関する基礎的知識と技能を活用する能力を身に付けている。	アートとデザインの諸活動の実践により、専門領域のみならず、他分野への興味、関心をもちながら課題に主体的に向き合い、多様な立場の人と協働しながら、発想し、表現する能力と態度を身に付けている。 時代を経ても変わらない人間の本质と向き合いながら、社会変化、環境変化、技術革新に対応し得るしなやかな精神力とメソッドとを持ち合わせ、自己実現することのできる能力と態度を身に付けている。	幅広い知識を常に収集しながら多様な人と社会を観察、洞察し、人間中心の視点から時代の変化に柔軟に対応できる思考力、発想力、判断力を身に付けている。	領域横断型の実践的な学びを通じ、専門領域のみならず、他分野との中間領域を開拓するための表現力、実践力を身に付けている。	
			【知識・理解】 (教養力・専門性)	【関心・意欲・態度】 (主体性・積極性)	【思考・判断】 (論理性・想像力・洞察力・社会性・発信力)	【技能・表現】 (創造力・独創性・対話力)	
学科共通	必修	演習	アート・デザイン表現基礎演習A	◎			◎
		講義	宇宙・人間・アート	◎		○	
		講義	アート・デザイン表現論	◎	◎		
		講義	メディア概論	◎			
	選択	演習	アート・デザイン表現基礎演習B	◎			◎
		演習	アート・デザイン表現基礎演習C	◎			◎
		演習	アート・デザイン表現基礎演習D	◎			◎
		講義	ヒーリング表現概論	◎	◎	◎	◎
		講義	ウェルビーイングとアート論	◎	◎	◎	◎
		講義	ファッションデザイン史	◎			
		講義	ファッション&テキスタイル概論	◎		◎	
		講義	スペース表現概論	◎	◎		◎
		講義	空間芸術史	◎	◎		◎
		講義	知覚・感覚概論	◎	◎		◎
		講義	ミュージアムスタディ概論	◎	◎	◎	◎
講義	クリエイティブプロデュース概論	◎	◎		◎		
専攻・領域専門	必修	演習	メディア表現演習01	◎			◎
		演習	メディア表現演習02	◎			◎
		演習	メディア表現演習03	◎	◎		◎
		演習	メディア表現演習04	◎		◎	◎
		演習	メディア表現演習05	◎	◎		◎
		演習	メディア表現演習06	◎		◎	◎
		演習	メディア表現演習07	◎		◎	◎
学科共通	必修	演習	アート・デザイン表現演習 I	◎		◎	◎
		講義	デジタル知的財産概論	◎			
	選択必修	講義	メディア映像概論	◎	◎		◎
		講義	ノンリニアナラティブ	◎	◎		◎
	選択必修	講義	メディアアート概論	◎			◎
		講義	キャラクター文化論	◎			◎
		講義	国際交流文化概論A			◎	
		講義	国際交流文化概論B			◎	
	選択	講義	絵本芸術論	◎			
		講義	ファッションマネジメント文化論		◎	◎	
講義		ミュージアムメディア概論	◎	◎		◎	
必修	演習	メディア表現演習08	◎		◎	◎	

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」				
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。				
アート・デザイン表現学科 メディア表現領域 教育目標・人材の養成に関する目的			メディア表現領域では、人間の感覚を理解し、グローバルに変わり続けるメディア環境の中で適切な情報・表現を選び使う能力を養い、多様な表現への挑戦と時代や社会の状況に対応できるクリエイティブな人材の育成を教育目標とする。				
学科専門科目 (学科共通科目／専攻・領域専門科目)			芸術学部のディプロマポリシー				
科目 区分	年次	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
			アート・デザイン表現学科のディプロマポリシー				
			アートとデザインに関する基礎的知識と技能を活用する能力を身に付けている。	アートとデザインの諸活動の実践により、専門領域のみならず、他分野への興味、関心をもちながら課題に主体的に向き合い、多様な立場の人と協働しながら、発想し、表現する能力と態度を身に付けている。 時代を経ても変わらない人間の本质と向き合いながら、社会変化、環境変化、技術革新に対応し得るしなやかな精神力とメソッドとをもち合わせ、自己実現することのできる能力と態度を身に付けている。	幅広い知識を常に収集しながら多様な人と社会を観察、洞察し、人間中心の視点から時代の変化に柔軟に対応できる思考力、発想力、判断力を身に付けている。	領域横断型の実践的な学びを通じ、専門領域のみならず、他分野との中間領域を開拓するための表現力、実践力を身に付けている。	
			【知識・理解】 (教養力・専門性)	【関心・意欲・態度】 (主体性・積極性)	【思考・判断】 (論理性・想像力・洞察力・社会性・発信力)	【技能・表現】 (創造力・独創性・対話力)	
専攻・領域専門	必修	演習	メディア表現演習09	◎		◎	◎
	必修	演習	メディア表現演習10		◎	◎	
	必修	演習	メディア表現演習11	◎	◎	◎	◎
	必修	演習	メディア表現演習12	◎	◎	◎	◎
	必修	演習	メディアクリエイション基礎演習01	◎	◎	◎	◎
	必修	演習	メディアクリエイション基礎演習02	◎		◎	◎
学科共通	必修	演習	アート・デザイン表現演習Ⅱ		◎	◎	
	必修	演習	アート・デザイン表現演習Ⅲ		◎	◎	
	選択必修	講義	メディア文化論特講	◎			
	選択必修	講義	メディアマネージメント論	◎	◎		◎
	選択	講義	エビデンスベース入門	◎	◎		◎
	選択	講義	心と身体の科学	◎			
	選択	講義	心とアートの心理学			◎	
	選択	講義	空間思想論	◎	◎		◎
専攻・領域専門	必修	演習	プロジェクト&コラボレーション演習		◎	◎	◎
	必修	演習	メディアクリエイション演習01		◎		◎
	必修	演習	メディアクリエイション演習02		◎		◎
	必修	演習	メディアクリエイション演習03		◎		◎
専攻・領域専門	必修	実技	メディアクリエイション実習	◎	◎	◎	◎
	必修	実技	卒業制作			◎	◎